

日本認知心理学会 公開シンポジウム

認知心理学がつなぐ

消費者行動とマーケティング

参加費：
無 料

事前予約：
不 要

私たち消費者はどのようにブランドや商品を選ぶのでしょうか？

その背景には知覚、注意、記憶、評価、選好、意思決定など様々な心理プロセスが存在します。

本シンポジウムでは、消費者が普段買い物をするときの心理プロセスに注目して、認知心理学とマーケティングのそれぞれの研究分野における最新の科学的知見をわかりやすく紹介します。本シンポジウムを通して、皆様に「買い物の不思議」に気づいていただくことで、認知心理学の面白さや有用性をお伝えできればと思っています。大学で認知心理学を学びたい高校生の皆様、認知心理学を学んでいる大学生の皆様をはじめ、認知心理学に興味がある皆様どうぞ奮ってご参加ください！

企画・司会

広島大学准教授 有賀敦紀

日 時 9月14日(土) 13:00~16:00

場 所 立命館大学大阪いばらきキャンパス
A棟1階AN110教室

13:00~13:05 趣旨説明

有賀 敦紀(広島大学准教授)・永井 聖剛(立命館大学教授)

13:05~13:50 講 演1

「なぜ優れたサービスを受けると苦情を言うのか? :

グループ消費の心理プロセス」

松下 光司(中央大学教授)

13:50~14:35 講 演2

「消費者の買物行動を促進するマーケティング手法」

守口 剛(早稲田大学教授)

14:35~14:50 休 憩

14:50~15:35 講 演3

「効果的な商品陳列法の背景にある認知プロセス」

有賀 敦紀(広島大学准教授)

15:35~16:00 ディスカッション

